

森林空間を活用した教育・保育に関する連携事業について

- 1 目的 「すべての人と森をつなぎ 森と暮らす楽しさと 森林文化の豊かさを次世代に伝えていく」ことを目的とし、学校教育や保育・幼児教育現場において森林空間を活用した自然体験の普及を推進する。
注) あくまで学校等が主体であり、森林総合教育センター(morinos)は学校等を支援する立場です。
- 2 実施期間 令和6年5月から令和7年3月末まで
- 3 連携対象 小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、保育園、幼稚園、こども園、認可外保育施設等
- 4 森林総合教育センターの支援 指導者の派遣、学校が企画するプログラムの立案支援、活動場所の提供

5 役割分担

学校等の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画立案 ・ 活動道具、体験材料・消耗品の準備（県が貸し出す道具以外） ・ 県指導者以外の指導者が必要な場合の報償費（旅費費用弁償） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 活動内容、参加人数により、県指導者以外の指導者が必要な場合あり ・ 活動場所の確保（森林文化アカデミーで実施する場合を除く） ・ 教員等を県教育委員会・森林文化アカデミー連携研修、森林総合教育センター主催指導者育成プログラム等に参加させる。
森林総合教育センターの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画提案、自然体験（事前打合せ、当日指導・振り返り） ・ 道具貸し出し ・ 教員等を対象とした森林環境教育関連研修の開催

6 森林環境教育プログラム内容

当連携事業は、森林空間を活用し「学ぶ」より「感じる」ことを重視した森林環境教育プログラムです。プログラム内容は以下のステップ①～③となります。

この度の連携校の募集は、受入校数に限りがあるため、他校の模範となる学校・園、主体的・継続的に取組まれる学校・園を優先して選考することをご承知おき願います。

<ステップ①>

(1) 1日型・森の出前体験（募集：学校8校、こども園等7園程度）

内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や園等の身近な森林にて、森林を利用した遊び、自然観察、森林整備等を体験する。 ・校庭、園庭等にて森林につながる体験（自由な木工、火起こし体験、森にちなむ遊び等）を実施
実施日数	1日/校・園等 県5圏域（(岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨) 各3校・園程度
場所	校庭、学校林など
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境教育が、自校、自園においても実施可能なことを理解し、通常教育に取り込むことにつなげる。 ・当体験がきっかけとし、通年型プログラムの実施へ意欲を持つ。
参考	森林総合教育センターHP 活動報告 >旭小5年生、里山整備と秘密基地づくり 
	>下呂市萩原の「きたこども園」の年長さん、 ヒノキを倒してジグソーパズルをつくる 
	>山県市立梅原小学校に森の体験を出前しました 
	>笠松町松枝保育所に森の体験を出前しました 

<ステップ②>

(2) 1日型・morinos体験（募集：学校3校、こども園等3園程度）

内容	森の中での自然体験（春みつけ、秋みつけ、はだしで森林体験など）指導者と一緒に、森を散歩して森に関する新たな発見や、広場で自由に遊び、木や自然に触れることができるプログラム。
実施日数	1日/校・園等
場所	森林総合教育センター(morinos)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通じ森林総合教育センターの活用方法や森林教育を理解し、センターの支援なしで自由にセンターを利用にできる(※)ことを目指す。 ・教育と森林が融合可能であることを理解し、通年型の実施へ意欲を持つ。

参考	森林総合教育センターHP 活動報告 > 可児市兼山小学校5年生 morinos を満喫!	
	森林総合教育センターHP 活動報告 > 美濃小学校5年生の林業、森林体験	

※森林総合教育センターの利用方法を熟知している、又は事前に下見していただき、自然体験活動の指導が可能な教員等が存在する団体は、当事業に要望いただかずに、当センターHPの自由利用団体用申請フォームから申込みいただくことで当センターを利用可能です。

→morinosHP「学校・団体の利用」より申込 (https://morinos.net/what-can-you-do/free_use/)

<ステップ③>

(3) 通年型支援 (募集：学校3校、こども園等3園程度)

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校において、森の中で国語・算数・理科・社会等授業を行う森林教育プログラム等。 ・保育園・幼稚園等において、森の中での自然体験活動を自立的、継続的に取り組む園を支援。森の中での遊び体験、指導者のスキルアップ（リスクマネジメント、見守り方等）。 	
実施日数	年間約3～4日(季節毎等) / 校・園等、その他事前打ち合わせあり	
場所	校庭、園庭、学校林、近隣の森林・公園、森林総合教育センター(morinos)等	
目的	季節を変えて年間3～4回程度実施し、2～3年を目途に教職員が近隣の森林を活用した授業の実践や幼児期における自然体験を「日常的に」展開できるように自立を支援する。	
条件	<p>○教員等が以下のいずれかの研修等を受講すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会・森林文化アカデミー連携研修「野外で学ぶ体験講座」 ・ 森林総合教育センター主催の指導者育成プログラム等（保育園等現地OJT研修等含む） <p>◇ 令和6年度の研修等の予定は現段階では未定です。</p>	
参考	YouTube「morinosチャンネル」 >morino de van project 【2022JUL14】南帷子小学校	
	>morino de van project 【2022AUG31】富野保育園～先生交流研修～	

7 スケジュール

(1) 応募から実施決定まで (見込)

- ・応募期間 令和6年 1月29日(月) ～ 令和6年2月22日(木)
- ・選考期間 令和6年 2月26日(月) ～ 令和6年3月 5日(火)
- ・実施決定連絡 令和6年 3月 7日(木) ～ 令和6年3月15日(金)

(2) 体験実施まで

- ・2ヶ月前 電話による事前調整(日程、場所、参加者、服装、写真、雨天時対応等)
- ・1ヶ月前 活動場所事前調整(当日参加の教員等と現地踏査、活動内容確認)
- ・前日まで 受け入れ校側での事前準備
- ・当日 自然体験の実施
体験実施後、県指導者と参加教員等により振り返り

8 応募方法

森林総合教育センター(morinos)のHPの以下の申込みフォームに令和6年2月22日(木)までに入力願います。

「なにができるの?」→「学校・団体向けプログラム」→「申し込みフォーム」



<HP>



<申し込みフォーム>

9 その他

- ・ 「緑と水の子ども会議」(学校提案事業)も活用できます。(令和6年度要望提出期限：令和6年2月9日(金))
例) 学校等と森林総合教育センター(morinos)や活動森林等との間の車両借上げ代、プログラムに使用する消耗品費や原材料費、補助者の報償費等
- ・ 「ぎふ木育教室」と当センターの事業は異なります。ぎふ木育教室は、保育所等が規定のメニューの中から実施したいプログラムを選択し、県が講師(木育指導員)を派遣する事業です。当センターの事業は、学校等と連携し地域特性に応じて創る自然体験活動であり、一過性の体験で終始しないことをねらいとしています。